

Catalyst 1200または1300シリーズスイッチでのファームウェアのアップグレード

目的

この記事の目的は、Catalyst 1200または1300スイッチのファームウェアをアップグレードする方法を示すことです。

概要

ファームウェアは、スイッチの動作と機能を制御するプログラムです。デバイスが機能するためにプログラムコードとデータが保存されているソフトウェアとハードウェアの組み合わせです。

ファームウェアをアップグレードすると、デバイスのパフォーマンスが向上し、セキュリティの強化、新機能、およびバグ修正が可能になります。このプロセスは、次の問題が発生した場合にも必要です。

- スイッチを使用した頻繁なネットワーク切断または断続的な接続
- 接続速度が遅い

適用可能なデバイス | [Software Version]

- Catalyst 1200 | 4.0.0.91([データシート](#))
- Catalyst 1300 | 4.0.0.91([データシート](#))

🌟 Best Practice:

ファームウェアをアップグレードする前に、設定をバックアップします。これを行うには、メニューでAdministration > File Management > File Operationsの順に選択します。実行コンフィギュレーションのコピーをPCにダウンロードします。デバイスのファームウェアアップグレードをリモートで実行することは推奨されません。

スイッチのファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレード

Note:

先に進む前に、上記の適切なリンクからスイッチの最新のファームウェアをダウンロードしてください。代わりに、『[How to Download and Upgrade Firmware on any Device](#)』の手順に従うこともできます。

手順 1

スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、Administration > File Management > Firmware Operationsの順に選択します。

▼ Administration 1

System Settings

Console Settings

Stack Management

Bluetooth Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

手順 2

File Operationsページで、次の操作を行います。


- Operation TypeとしてUpdate Firmwareオプションボタンをクリックします。
- コピー方式としてHTTP/HTTPSオプションボタンをクリックします。
- File Nameでは、Choose Fileをクリックし、コンピュータから以前にダウンロードしたファームウェアファイルを探します。

Firmware Operations

Active Firmware File: image1.bin
Active Firmware Version: 4.0.0.91

Operation Type: **1** Update Firmware
 Backup Firmware
 Swap Image

Copy Method: **2** HTTP/HTTPS
 USB
 TFTP
 SCP (File transfer via SSH)

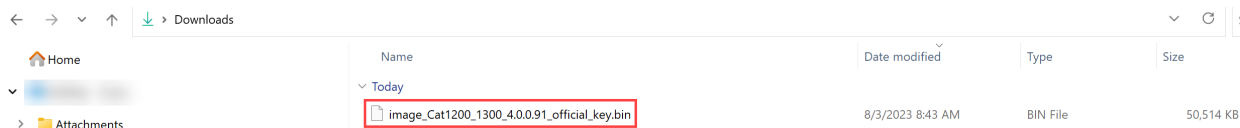


3 File Name: No file selected.

Note: USBフラッシュドライブを使用してスイッチにファームウェアを転送する場合は、USBを選択します。

手順 3

ファイルを選択し、Openをクリックします。



手順 4

[APPLY] をクリックします。

Firmware Operations

Apply

Cancel

スイッチのリブート

アップグレードされたファームウェアバージョンを適用するには、スイッチをリブートする必要があります。

手順 1

Administration > Rebootの順に選択します。

▼ Administration 1

System Settings

Console Settings

Stack Management

Bluetooth Settings

User Accounts

Idle Session Timeout

手順 2

このページで、次の情報を入力します。

- デフォルトのImmediateが選択されていることを確認します。
- (オプション) 必要に応じて、Restore to Factory DefaultsチェックボックスまたはClear Startup Configuration Fileチェックボックスにチェックマークを付けます。どちらのオプションを選択しても、スイッチは基本的に工場出荷時のデフォルトのリセットを実行します。これは、リブート時に実行コンフィギュレーションとスタートアップコンフィギュレーションの両方が削除されるためです。
- Rebootをクリックします。

Reboot

To reboot the device, click the 'Reboot' button.

Reboot: Immediate ¹

Date Jan 01 Time 00 00 HH:MM

In 00 Days 00 Hours 00 Minutes

Restore to Factory Defaults ←

Clear Startup Configuration File

その後、スイッチがリブートします。このプロセスには数分かかることがあります。

結論

お疲れさまでした。これで、スイッチのファームウェアが正常にアップグレードされました。

Catalyst 1200および1300スイッチの詳細については、次のページを参照してください。

- [Cisco Catalyst 1200または1300シリーズスイッチにアップグレードする理由の機能比較](#)
- [Cisco Catalyst 1200および1300シリーズスイッチAt-a-Glance](#)

その他の設定と機能については、『[Catalystシリーズアドミニストレーションガイド](#)』を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。